

単年度収支で赤字の予算を編成

去る令和8年2月25日に開催された第88回組合会において、当健保組合の令和8年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、そのあらましをお知らせいたします。

収入

少子高齢化が進み、わが国の総人口に占める75歳以上の割合は16・8%（総務省）となっております。他国での75歳以上の占める割合は10%に届かないくらいであるのと比べてみても、世界的に最も高い水準となっております。

健康保険組合連合会（健保連）が発表した「令和6年度健康保険組合決算見込」によると、経常収支で145億円の赤字となりました。30数年ぶりの高い賃金上昇の影響に加え、保険料率の引き上げにより保険料収入が前年度より4261億円（+4・9%）増加しました。一方で高齢者等拠出金は前年度より2065億円（+5・7%）増加し、保険料収入の伸びを上回りました。

今後も健保組合が負担する高齢者医療への拠出金が増え続けることは確実です。高齢者の医療費を現役世代だけでなく、広く社会全体で支える仕組みの構築は不可欠なものとなっております。

当健保組合においても、厳しい財政状況が続いています。令和8年度の予算総額は、前年度より236万7千円少ない2億8656万円です。収入の83%が事業主と被保険者のみなさんから納めていただく健康保険収入（国庫負担金収入含む）で、前年度より89万円少ない2億3694万2千円を計上しています。

また、保険料だけでは必要な額をまかなえないため、4000万円を積立金から繰り入れて、収支を均衡させました。

支出

支出のおよそ44%（保険料の53%）はみなさんやご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費で、前年度より717万5千円少ない1億2525万8千円を見込んでいます。

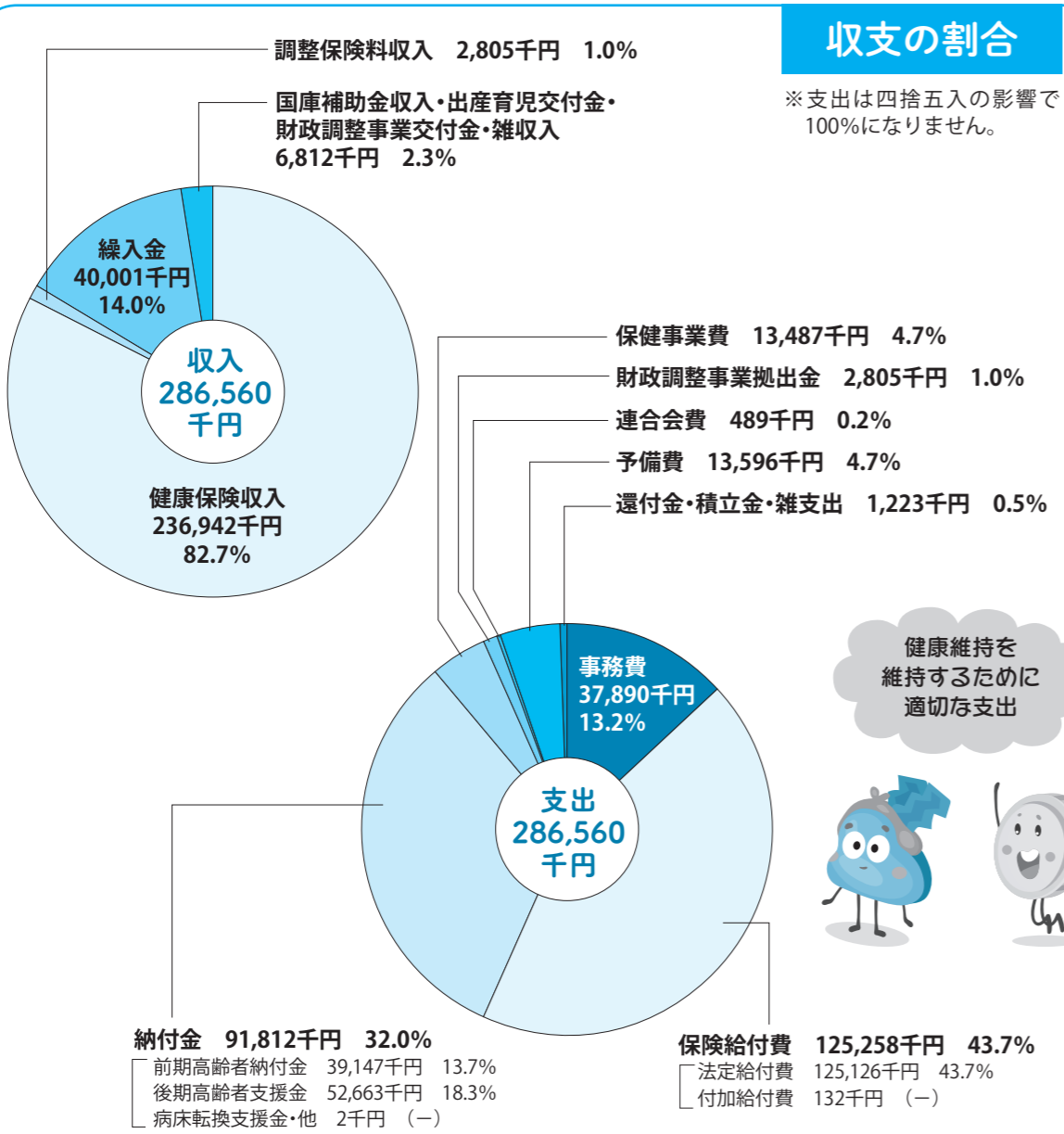
高齢者医療制度への納付金は、前年度より269万3千円少ない9181万2千円で、支出全体の32%（保険料の39%）を占めています。前年度より減少はしましたが、保険給付費と納付金の2科目だけで、保険料の92%を占める大きな割合となっております。

みなさんの健康づくりをサポートするため、保健事業費には1348万7千円を計上しております。健診や人間ドックの補助、保健指導などを通してみなさんの健康管理を支えてまいります。これらの事業を活用して、病気の予防と健康づくりにご活用ください。

以上の結果、令和8年度は前年度の保険料率を千分の100（調整保険料率含む）を維持しましたが、2850万5千円の赤字予算となりました。健康保険組合は、事業主と被保険者が保険料を出し合って運営しています。大切な財源（保険料）を有効活用するために、みなさんにおかれましては適正受診の励行やジェネリック医薬品の活用など、医療費の節減にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

収支の割合

※支出は四捨五入の影響で100%になりません。



令和8年度も健康づくりを応援します

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。左記の事業を積極的に活用して病気の予防と健康づくりにお役立てください。

保健・衛生知識の普及のために

- ホームページの開設
- 医療費通知（3カ月ごと）
- 保健図書配布（新人対象）

病気の予防のために

- 特定健診・人間ドック
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に年1回実施
- 特定保健指導
対象者を実施
- 生活習慣病健診
被保険者・被扶養者全員を対象に実施

